

＜平成 27 年度事業＞

あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業の 実施団体が決まりました！

愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用し、平成 26 年度から複数の団体が協働して行う生態系ネットワーク※の形成の取組に対し、「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金」による支援を行っています。

このたび、平成 27 年度の交付対象者として 4 団体を決定しました。

大学のキャンパスや企業の敷地内におけるビオトープの整備、一般県民が参加できる植樹体験バスツアー等の事業が、県内の 4 つの地域（西三河、知多半島、東部丘陵、新城設楽）で実施されます。

※ 生態系ネットワーク・・・開発などで分断・孤立した、生きものの生息生育空間（ビオトープ）を緑地などでつないで、地域本来の自然環境を保全・再生するもの

1 交付金の概要

（1）目的

県民、事業者、NPO 等の地域の様々な立場の人々が協働して、地域本来の自然環境を保全・再生し、生きものの生息生育空間をつなぐ「生態系ネットワーク」を形成するため、ビオトープの創出、維持・向上等に要する経費に対し、あいち森と緑づくり税を財源とする交付金を交付する。

（2）交付対象者

生態系ネットワークの形成を目的とする、NPO・ボランティア団体・農協・漁協・森林組合・自治会・大学・企業・市町村等の複数の団体から構成される団体

(3) 交付対象事業

交付対象事業		事業内容及び例
1	ビオトープ創出事業	水辺や樹林地など生物の生息生育空間を新たに創出し、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業 (例) ①工場・事業所、学校などの敷地内におけるビオトープの整備 ②企業が保有する空地などを活用したビオトープの整備
2	ビオトープ維持・向上事業	既にある生物の生息生育空間を整備し、質の維持・向上を図る活動により、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業 (例) ①里山、林や草地、湿地等のビオトープとしての再生 ②公園や緑地、ため池や調整池等のビオトープとしての再整備
3	調査事業	上記1、2の実施にかかる生態系ネットワーク形成のための調査 (例) ①ビオトープ整備事業予定地及び周辺の植生、動植物の生息生育状況の調査 ②モニタリング調査（定期的な生きものの調査）

(4) 交付率及び限度額

交付率 対象事業に必要な経費のうち知事が認める経費の10分の10以内

限度額 1件当たり300万円

2 平成27年度の採択団体等

(1) 募集期間

平成27年2月23日（月）～3月20日（金）

(2) 応募数（採択数）

4団体（4団体）

(3) 平成27年度の採択団体及び採択事業

別表のとおり

団体名	構成団体	事業区分	採択事業の概要
西三河生態系ネットワーク協議会	ソニーイーエム シーエス（株） 幸田サイト 生活協同組合コープあいち 岡崎市 幸田町 始め 24 団体	調査事業	[名称] 地域在来種の苗木の育成・配布スキームづくり事業 [概要] 入手が難しい地域在来種によるビオトープの創出を促進するため、地元の企業、学校、行政等が協力・連携して、地域在来種の苗木を育成・配布し、育成・配布の有効なスキームのあり方を検討する。
知多半島生態系ネットワーク協議会	日本福祉大学 東浦里山支援隊 日本エコロジスト支援協会 大同特殊鋼（株） 東浦町 始め 36 団体	ビオトープ創出事業 調査事業	[名称] 知多半島における生態系ネットワーク形成事業 [概要] 南部の大学キャンパス内での松林の植栽等によるビオトープの整備、中部の里山における生きものの通り道の整備に向けたワークショップの開催、北部の臨海工業地帯の企業の敷地内でのビオトープの整備を実施する。
東部丘陵生態系ネットワーク協議会	愛知学泉大学 始め 35 団体	調査事業	[名称] 大学キャンパス内の里山林・ため池の復元・再生調査事業 [概要] 大学のキャンパス内の里山林やため池をビオトープとして復元・再生するため、現況を調査し、ビオトープの形成に向けた整備計画を作成する。
新城設楽生態系ネットワーク協議会	愛知大学 横浜ゴム（株） 中日本高速道路（株） 始め 16 団体	ビオトープ維持・向上事業 調査事業	[名称] 一般県民が参加できる植樹体験バスツアー等事業 [概要] 一般県民が参加できる植樹体験バスツアーを開催し、設楽町の人工林の皆伐地※等に、企業が提供した広葉樹の苗木を植栽して、ビオトープの維持・向上等を図る。

※ 皆伐地・・・全部の木が伐採された土地